

平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	06040207	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	行財政改革推進事業	担当部署名	政策推進室	
		作成責任者職氏名	前川和夫	内線 221
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	06協働・行政経営	04健全な行財政運営	02行財政改革の推進	
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	なし	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>・健全な行財政運営を確立するため、第4次総合計画に基づく各種事務事業実施に向け効率化を図る。</p> <p>②内容</p> <p>・事務事業評価制度の構築などPDCAサイクルを徹底。 ・行財政改革を推進するためその指針となる行財政改革プランを策定する。</p>	<p>・職員、村民、各種団体など</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>・「選択と集中」により、行政のスリム化を図り、住民サービスの維持、向上が期待できる。</p>	<p>・村民と行政の役割分担の明確化</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		22 年度 実績	23 年度		24 年度 事業費(見込)	25 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		0	0	0	0	0		
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	0	0	0	0	0		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	622	622	622	622	622		
総コスト費(千円)(A+C)		622	622	622	622	622		
人口あたりコスト(円)		101	101	101	101	101		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度 目標値	25 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	戦略プラン進捗状況の公表	回	2	2	100%	2	2
②	目標指標							
③	目標指標							

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	平成22年度に財政再建のための緊急措置として行政経営戦略プランを策定した。喫茶の課題である平成24年度の財政再生団体への転落が回避されたこと、基金積立が可能となったことなどから戦略プランの取り組みの妥当性は評価できる。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	平成22年度に財政再建のための緊急措置として行政経営戦略プランを策定した。喫茶の課題である平成24年度の財政再生団体への転落が回避されたこと、基金積立が可能となったことなどから戦略プランの取り組みによる一応の効果があったと評価できる。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	戦略プラン実施について、戦略会議全体として進行管理するなど概ね効率的に進められている。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) **13** / 16 **81%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	81%	91%	a
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
第4次総合計画における今後のむらづくりの考え方において、行財政改革の推進を掲げている。今後も引き続き、行財政改革は必要であり、平成25年度以降の行財政改革の取り組みの検討を進める。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
第4次総合計画における今後のむらづくりの考え方において、行財政改革の推進を掲げている。今後も引き続き、行財政改革は必要であり、平成25年度以降の行財政改革の取り組みの検討を進める。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	

第4次総合計画における今後のむらづくりの考え方において、行財政改革の推進を掲げている。今後も引き続き、行財政改革は必要であり、平成25年度以降の行財政改革の取り組みの検討を進める。

B

A: 拡充
B: 現状維持
C: 見直し
D: 縮小
E: 休止・廃止

(2/2)